

# 市街地現場における安全管理と創意工夫

## (都) 下土狩文教線道路改良工事

静岡県土木施工管理技士会三島地区

加和太建設株式会社

現場代理人 天野 謙一郎 (CPDS 番号: 145673)

### 1. はじめに

(都) 下土狩文教線は、三島市の都市内主要幹線に位置付けられた道路で、三島駅北口と市北東部方面とのアクセスを円滑にすることで交通結節点機能の強化を図り、三島駅北口周辺の高次都市形成を促進することを目的としています。

本工事は、(都) 下土狩文教線の三島駅北口交差点から南町文教線交差点までの本線歩道のインターロッキング工事である。

工 事 名 : (都) 下土狩文教線道路改良工事

発 注 者 : 三島市

工 事 場 所 : 静岡県三島市文教町地先

工 期 : 平成 30 年 7 月 19 日 ~ 平成 31 年 2 月 14 日

工 事 内 容 : 工事延長

L = 390m

CD側溝据付工

L = 11m

インターロッキング (歩道) A = 2540 m<sup>2</sup> (車道) A = 201 m<sup>2</sup>

植樹柵

N = 17 箇所



## 2. 現場の課題

本現場は三島駅北側の玄関口となる道路の歩道整備工事であることから、この道路を利用する多くの市民の方々や、初めて三島を訪れた方々も道路工事に対し好印象が持てるような工事の工夫が必要とされた。またこの道路の沿線及びその周辺には、小学校、中学校、高校、大学があり、非常に多く学生が普段から通学路として使用する道路であることから、工事区域と歩行者通行帯を明確に分離して安全に工事を行う必要があった。

## 3. 実践内容

### ① 三島の道路今昔フォトギャラリーの展示

今回の工事現場のみならず三島市内の昔の写真と、同じ場所の現在の写真を比較できるように展示し、道路及び街並みが昔から大きく変化した状況を展示した。これにより地域の方々や、初めて三島に来られた方々に三島の道路や街並みが工事によって大きく変化してきたことに興味を持ってもらうことで、工事に対する理解と協力を得ることを目的とした。

### 今昔フォトギャラリー



## ② 合同防災訓練への協力

今回の工事範囲内で行われた三島警察署、富士山南東消防本部三島消防署および弊社との災害対策合同防災訓練に、施工ヤードの一部を開放して協力した。また弊社のドローン操縦士による操縦訓練も実施し、有事の際の活動に協力した。

訓練状況



ドローン操縦



## ③ 富士山バリケード及びサインシェイドによる施工区域の明示

今回の現場は歩行者が非常に多いこと、また通行車両と民地へ出入りする車両も非常に多かったことから、イメージを損なわず、かつ目立つ工事区域と歩行者通路の分離方法が求められた。

富士山バリケード及びサインシェイドによる明示状況



## サインシェイド



サインシェイドには三島市のご当地キャラクターである「みしまるくん」と「みしまるこちゃん」のイラストを挿入し、工事に対し子供たちも親しみと興味を持つバリエードデザインとしてイメージアップを図った。

### ④ 第三者へのインフルエンザの注意喚起・予防法の掲示

現場周辺には一般の方々も多く住んでいた事、通勤途中の交差点で足を止める方が多かったことから、目に付きやすい位置にインフルエンザの注意喚起・予防法を掲示することで一般の方々とのコミュニケーションを図った。

## インフルエンザの注意喚起・予防法



#### ⑤ 現場周辺の清掃

三島駅北側の玄関口となる道路であったことから、現場周辺をきれいに保ち、多くの人々に工事に対し好印象を持ってもらうため、強風後に道路にたまった街路樹の落ち葉の清掃を行い環境美化に努めた。



#### 4. 適応結果とまとめ

本工事は、10年前に私が携わった下土狩文教線道路改良工事の続きの工事であった。

今回の工事でも10年前と変わらず、明るく声をかけてくださった地元の方々との距離感が、このような創意工夫を行う事でさらに縮まった感じを受けました。

大手ゼネコンさんとは違い、地方の地元密着型のゼネコンだからこそできる第三者へ向けての創意工夫により、少しずつではあるが土木業界全のイメージの変化につながれば幸いです。

